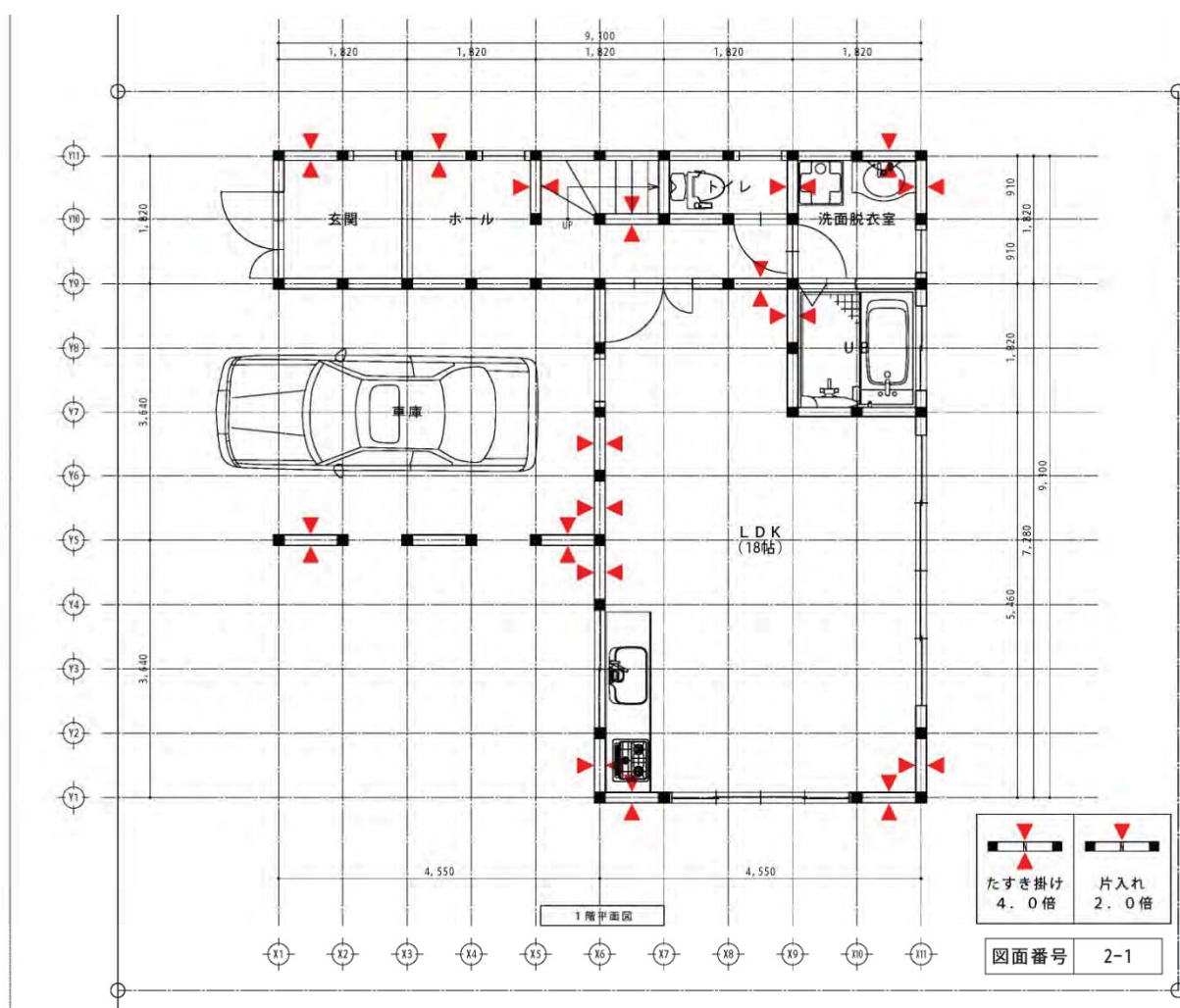


2. バランスのチェック

各階の平面を短冊状に4等分したときの両端の壁の充足率(存在壁量/必要壁量)が共に1を上回るか、又は、両端の壁量の充足率を比べたときに、小さい方が大きい方の0.5以上であれば、バランスが良いと判断します。

2.1 バランスのチェック

このバランスチェック建築基準法でも求められています。耐震等級2を取得するからという話ではありません。長期優良住宅でも必ずチェックしなければいけません。



1階には上図のように、X方向、Y方向それぞれ、たすき掛けの耐力壁当初6か所だったのを、3か所追加して9か所配置いたしました。しかし配置しただけでは、建物は地震に強いとは言えません。バランスが悪いと、地震時に建物はねじれを起こし、倒壊や崩壊を招く恐れがあります。